

長谷宗悦

時を超えて肯定されるということ

2022年

人同士が善悪と好き嫌いを超えて、お互いの違いを認め合うことは、とても難しい。

私自身、家族にさえ、そう感じることもある。

ましてや他者に対しては、なおさらである。

人として大切なものは、特別なものではなく、いつもの普通の生活の中にあるはず。

自由、平等、思いやり、慈しみ、気配り、寛容、献身、共感、感情移入…。

しかし、真実は言葉にかからない。

目先の利害に眼を奪われれば、物事の本質を見失う。

私という過程は、先人の恩恵や犠牲の上に成り立っている。

人は、いかに不条理な状況であっても生きてきた。そして生きていく。

年を経て、ようやく先人たちの想いが素直にわかるようになってきた。

私たちは、時を超えて肯定されるのだろうか。

自分の子に、何かを残し伝えていけるのだろうか。

私は日々「もの言わぬ物」たちに出逢う。

彼らは、わかり合おうと共に歩む、“自分自身”でもある。

青木ヶ原樹海の深緑のなかで、そんなことを思った。